

2019年12月10日
三菱FBRシステムズ株式会社

フランスとナトリウム冷却高速炉開発計画の協力に関する実施取決めを締結

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(以下、「JAEA」という)、三菱重工業株式会社(以下、「MHI」という)、三菱FBRシステムズ株式会社(以下、「MFBR」という)は、フランス原子力・代替エネルギー庁(以下、「CEA」という)、フランスFRAMATOME社(以下、「FRAMATOME」という)と協議を進めてきたナトリウム冷却高速炉開発計画にかかる協力について合意し、12月3日、同協力にかかる実施取決めを締結しました(以下、「本実施取決め」という)。本実施取決めは、先に締結された政府当局間取決め(日本・フランス間の高速炉開発協力に関する一般取決め:2019年6月26日署名)の下位取決めです。

ナトリウム冷却高速炉は、第4世代原子力システムと称される、高い安全性、経済性等を実現する次世代の原子力システムの中の、最も有望な技術のひとつです。本実施取決めは、JAEA、MHI、MFBR、CEA、及びFRAMATOMEの五者が、この研究開発を政府当局間取決めに基づいた実施機関として行うことを定めています。